

一般質問

市政全般にわたり17人の議員が質問 (要旨を掲載)



圏央道に「道の駅」を

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

圏央道は、海老名ICから厚木ICまでの約10キロメートル区間が12年度に開通し、座架依橋の北側にPA（パークングエリア）が造られる予定になっています。このPAの東側は、前に相模川が横たわり、遠方に座間丘陵を望み、北に水郷「八景の棚」、春には新磯の芝ザクラ、夏にはヒマワリ、秋には稲穂の黄金色等風光明媚なPAになります。このPAに高速道路では初めてとなる「道の駅」を造らせて、そこに座間の特産物（新鮮な野菜、ひまわり焼酎、大和いも、高座豚肉食品など）を含め、厚木、愛川、海老名

等の物産を販売するなどして、産業振興や地域おこしにつなげたという提案です。ただ、これを現実していくためには、座間だけではなく厚木を中心にしながら、海老名、愛川などに働きかける、そして、市長だけではなく商工会、農協関係者、観光協会などが、おのおの立場で取り組んでいくことが大事です。

市長 相模川の右岸にPAができれば、座間のPR、物産の販売に非常に有益ではないかと私も思います。4市1町1村で開催する県央サミットの場で、共通の課題として働きかけてみたいと思います。



肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める

柏木 育子 議員《日本共産党》

日本の予防接種は世界の中で後進国並みに遅れていると言われており、一方で国民の予防接種に対する関心が高まり要求運動にもなっています。肺炎は、日本人の死因で4番目に多く、肺炎で亡くなる方は年間8万人に達します。その内の9割が70歳以上の高齢者です。肺炎球菌ワクチン

は肺炎の原因となる病原体の中で、最も頻度の高い肺炎球菌という細菌をねらった予防ワクチンで、一度接種すると5年間は原因菌による肺炎の予防効果があり、原因菌による肺炎になっても軽くて済みます。また、抗生物質が効きやすいなどの効果があり、医療費抑制にも効果があります



新指導要領実施による授業時間増に土曜学習の導入を！

安海 のぞみ 議員《神奈川ネット》

2002年実施の学習指導要領改訂は、生きる力を育む体験主義に基づく総合的な学習の導入、画一主義を排し教育の多様性を確保等教える側・教えられる側ともに、ゆとりを生むことを大きな目標としていました。それまでの詰め込み教育の反省に立ち、大幅な学習内容の削減がなされ、公立小・中学校の完全週5日制も実施されました。このような教育改革から9年、今回の改訂では英語の必修化のほか授業時間数が増加されます。新指導要領実施に際し、特別支援教育も含めた対応と、土曜授業の復活や地域に開かれた土曜補習、土曜塾等に対する考えをお示しく下さい。

また、その他の法定外の予防接種について、市独自の取り組みを、予防接種法に位置付けるよう国に働きかけることとあわせてお答えください。**保健福祉部長** 予防接種は、国の責任で実施し、費用負担すべきと考えております。

本市は、自治会活動育成費補助金として、2011年度934万8000円を座間市自治会連絡協議会へ支出しております。一方、自連協加盟自治会の2009年度の収支報告を見ますと、自治会数195のうち、収支報告が提出



自治会補助金 補助金額を大きく上回る繰越金と効果検証はごつするの

沖永 明久 議員《市民連合》

されている自治会は、126自治会。69自治会が未提出ということになりました。収支報告が提出されている126自治会の次年度への繰越金総額は、約9300万。しかもほぼすべての自治会において、前年度より増加しております。



住宅用太陽光発電設備設置助成制度について

飛田 昭 議員《市政クラブ》

平成22年度の住宅用太陽光発電システムを設置する方を対象とした補助は、県が1キロワット2万円で上限は7万円です。本市でも県と同額で、受付期間が平成22年4月12日から平成23年2月25日まででしたが、6月28日で予定件数に達したため受け付けを終了し、追加受付の予定はないと聞いています。

また、本市では補助金を辞退した方が1件あったとのことですが、先着順で申請を出しておいて、その後工事期間を調整することには矛盾を感じます。工事完了の実態についてお示しく下さい。

さらに、平成23年度については、助成額が1キロワット1万5000円で、5万2000円が限度額ですが、その根拠を伺います。また、前回同様先着順で受け付けるのか伺います。**環境経済部長** 工事完了の実態については、平成23年2月末時点で、56件の申請を受け付け、そのうち辞退が4件あり補助件数は52件です。平成23年度については、限度額の根拠は、県と調整した結果、国の動向や設備価格の低下などを考慮したものです。また、今まで同様先着順で実施する予定です。



小学生・中学生を携帯電話の危険性から守れ

池田 徳晴 議員《市政クラブ》

現在、携帯電話は子供たちの生活の一部になりつつあります。携帯電話は正しく利用すれば大変便利なものですが、その便利なものが問題を発生させる現状があり、無機質なものの向き合う時間が少なくなることや会話や心の交流が少なくなっていると思います。今こそ学校教育では心の教

育が必要であり、言葉を生かして相手に思いを伝える大切さを教えるべきと考えます。心の教育の所見と携帯電話の実態をお示しく下さい。**教育長** 本市での児童・生徒の携帯電話所有率は、小学生が43%、中学生が74%で、そのうちメールアドレス所有

議会日誌

- 2・17 議会運営委員会
- 24 第1回定例会本会議
- 25 第1回定例会本会議
- 3・3 第1回定例会本会議
- 4 第1回定例会本会議
- 7 第1回定例会本会議
- 10 企画総務常任委員会
- 11 企画総務常任委員会
- 11 教育市民常任委員会
- 11 都市環境常任委員会
- 14 代表者会議
- 15 企画総務常任委員会
- 15 保健福祉常任委員会
- 16 代表者会議
- 16 教育市民常任委員会
- 16 都市環境常任委員会
- 17 代表者会議
- 17 基地対策特別委員会
- 22 代表者会議
- 22 代表者会議
- 23 議会運営委員会
- 25 第1回定例会本会議
- 28 議会だより編集委員会
- 28 竹市議員行政視察：北海道ニセコ町（29）
- 30 高座清掃施設組合議会
- 4 26 議会だより編集委員会

